

科目名	写真史			科目コード	1501
開講学科	写真学科	単位数	4	形態	講義
教員名	林 直				
授業の目的及びテーマ					
常に変遷し続ける芸術にとって、過去を知らなければ、新しさの意味は理解できない。写真の歴史は180年余りという短いものである。しかし、写真発明以降の文化・社会の流れは加速度的に速まっている。写真のムーブメントは数年という短い中に凝縮されたものがあり、その積み重ねが写真の歴史である。この授業はメディア社会の始まりと映像文化の発端となった写真の発生とその変遷を体系的に理解してゆく。					
授業概要					
時代やテクノロジーの変遷に応じてその表現を変化させ続ける写真を、その時代や感剤などの変化ごとに俯瞰し考察する。写真は、例えば戦争や紛争にはジャーナリズムが、経済が豊かになれば広告写真が発達するように世界の社会情勢に左右されてきた。さらには同時多発的に色々なムーブメントが起こることもある。それらを総合的に捉えないと写真の歴史は見えてこない。写真史ではメディアという概念の元となった写真が、どのような足跡を残してきたかを知り、これからの写真がどのように進んでゆくのかを、総合的に考察する。					
授業計画					
第 1 回：写真の発明、日本への伝来と、大正期のピクトリアリズムと新しい写真の流れ 第 2 回：出版ジャーナリズムとリアリズムの歴史 第 3 回：戦後（1945 年～）の写真 第 4 回：名取洋之助と土門拳の写真のあり方 第 5 回：マグナムとカルティエ＝ブレッソンの影響 第 6 回：広告写真をめぐる動きと共同エージェンシー「VIVO」の誕生 第 7 回：60 年安保と写真家 第 8 回：高度経済成長とドキュメンタリー写真 第 9 回：同人誌とコンテンポラリー写真 第 10 回：オリジナルプリントと写真美術館 第 11 回：写真雑誌と写真の関係 第 12 回：1980 年代のニュー・ウェーブ 第 13 回：1990 年代の新たなフォトジャーナリズム 第 14 回：女性写真家たちの登場 第 15 回：日本写真のグローバル化とメディア環境の変化					
テキスト	「日本写真史（上・下）」鳥原学 著 （中公新書 刊）		参考文献	「フォトアート」有野永霧・まつうらやすし・土田ヒロミ・矢野彰人 著 （大阪芸術大学 通信教育部 刊）	
評価方法：					
通信授業は提出課題 2 件を以って評価する。					